

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	神戸市		地区名	神戸・兵庫運河周辺地区			面積	211.0ha			
交付期間	令和5年度～令和7年度	事後評価実施時期	令和8年度		交付対象事業費	206百万円	国費率	0.463					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
		基幹事業	[高質空間形成施設]大輪田泊の石棕周辺整備、新川橋のライトアップ整備、材木橋のライトアップ整備、高松橋のライトアップ整備 [既存建造物活用事業]岡方倶楽部(神戸市歴史公文書館)の再整備										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	[高質空間形成施設]防潮堤水族園周辺プロムナード整備、中央卸売市場西側跡地周辺プロムナード整備、兵庫津の道歩道整備、清盛橋のライトアップ整備、住吉橋のライトアップ整備、御崎橋のライトアップ整備、モニュメントの整備				・建設費の高騰により、事業の見直しを行ったため。		指標1～4を下方修正				
		提案事業	[地域創造支援事業]御崎公園健康づくりサポート拠点整備事業 [事業活用調査]兵庫運河周辺のエリア価値向上に向けた社会実験、中央卸売市場西側跡地利活用検討調査、旋回橋周辺プロムナード整備手法検討調査、事業効果分析調査				・建設費の高騰により、事業の見直しを行ったため。		指標1～4を下方修正				
	新たに追加した事業	基幹事業	-				-		-				
		提案事業	-				-		-				
交付期間の変更	当初	令和5年度～令和9年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	事業規模の縮小に合わせて、交付期間を変更し、指標1～4を下方修正								
	変更	令和5年度～令和7年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	神戸市営地下鉄海岸線の乗降客数	人／日	43,176	R3年度	50,800	R7年度	-	55,842	○	あり なし	事業の進捗に伴い、コロナ禍からの回復の影響等とともに回遊性の向上に寄与し、乗降者数が増加している。	
	指標2	地域活動・イベントの実施回数	回／年	6	R3年度	7	R7年度	-	9	○	あり なし	歩道の整備や橋梁のライトアップを通じて、兵庫運河への親和性が向上したことに伴いイベント数が増加した。	
	指標3	兵庫津ミュージアムの来館者数	人／年	29,674	R3年度	47,900	R7年度	-	174,417	○	あり なし	回遊性の向上とともに、歴史的資源を含む周辺資源の活用促進にも一定程度寄与している可能性があると考えられる。	
	指標4	神戸市歴史公文書館の来館者数	人／年	-	R3年度	1,800	R7年度	-	2,273※	○	あり なし	歴史や文化に関心を持つ来訪者のさらなる増加と回遊性向上に寄与することが期待される。	
	指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	橋梁のライトアップや歩道の整備により、運河周辺の景観が向上し、地域の魅力発信に寄与している、また、明るさの向上により夜間の安心感が増すなど、副次的な効果が確認されている。												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	官民連携による取組	兵庫運河活性化会議と連携しロードマップの作成。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域内事業者や地元住民等で構成する兵庫運河活性化会議と連携し、事業を進めていく				
	持続的なまちづくり体制の構築	兵庫運河活性化会議と連携した定期的なクリーン作戦の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域内事業者や地元住民等で構成する兵庫運河活性化会議とクリーン作戦の実施等で連携を継続していく				

※本計画の基幹事業である岡方倶楽部(歴史公文書館)は令和8年6月に開館したため、指標4の評価値は開館後の令和8年6月～9月の数値である。

様式2-2 地区の概要

<

まちの課題の変化

- 高質空間形成施設事業により、運河周辺の景観が向上し、視覚的な魅力付が進んだ。
- しかし、当初計画より事業を縮小したため、期待された効果が十分に得られなかった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

平成24年に地域住民・地域企業・行政の連携により策定した「兵庫運河周辺地域のまちの将来像」に基づき、エリア価値向上を図るため、にぎわい創出・回遊性向上の取組をさらに加速化させていくため、

- 橋梁のライトアップの整備
- プロムナードの整備 等

の事業を計画的かつ継続的に実施していく。

※本計画の基幹事業である岡方倶楽部(歴史公文書館)は令和8年6月に開館したため、指標4の評価値は開館後の令和8年6月～9月の数値である。